

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	取組状況(H28年度分)	評価	今後の取組方針																																																
22	確かな学力の育成	<p>学力向上策の推進 「全国学力・学習状況調査」における、書く力を伸ばすための指導の実施率</p> <table border="1"> <caption>実施率の推移 (単位：%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小6</th> <th>中3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>87.5</td> <td>82.9</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>89.0</td> <td>88.4</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>91.3</td> <td>83.2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>96.0</td> <td>82.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>92.0</td> <td>92.7</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>96.5</td> <td>87.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	小6	中3	H24	87.5	82.9	H25	89.0	88.4	H26	91.3	83.2	H27	96.0	82.7	H28	92.0	92.7	H29	96.5	87.5	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>「全国学力・学習状況調査」における質問紙調査により、各小・中学校における児童・生徒の重点的な課題となっている書く力を伸ばすための充実を促進する。</p> <p>学力向上推進員研修会、教育課程研究会、学校訪問等を通じて、書く力を伸ばすための具体的な指導方法等について研修を実施した。</p> <p>「学力向上推進員研修会（6月・2月）」「教育課程研究会（8月）」「学校訪問指導（延べ約300校）」の実施</p> <table border="1"> <caption>(単位：%)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87.5</td> <td>89.0</td> <td>91.3</td> <td>96.0</td> <td>92.0</td> <td>96.5</td> <td>95.3%</td> <td>96.5</td> <td>97.0</td> </tr> <tr> <td>82.9</td> <td>88.4</td> <td>83.2</td> <td>82.7</td> <td>92.7</td> <td>87.5</td> <td>105.9%</td> <td>87.5</td> <td>88.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 各種研修会、学校訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実を周知したことにより、小・中ともに基準値から実施率が上がり、小学校では目標値を超えたとともに全国平均を上回った。</p> <p>(課題) 今後は書く力を伸ばすための指導の具体的方策に関する情報提供を行い、指導内容等の充実を図る必要がある。</p> <p>小中の国語部会と連携し、指導の具体的方策や有効な手立てについて協議を行い、書く力を伸ばすための指導の充実を促進する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	87.5	89.0	91.3	96.0	92.0	96.5	95.3%	96.5	97.0	82.9	88.4	83.2	82.7	92.7	87.5	105.9%	87.5	88.5	<p>取組状況(H28年度分)</p> <p>小6</p> <p>中3</p>	<p>評価</p> <p>(成果) 各種研修会、学校訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実を周知したことにより、小・中ともに基準値から実施率が上がり、小学校では目標値を超えたとともに全国平均を上回った。</p> <p>(課題) 今後は書く力を伸ばすための指導の具体的方策に関する情報提供を行い、指導内容等の充実を図る必要がある。</p>	<p>今後の取組方針</p> <p>小中の国語部会と連携し、指導の具体的方策や有効な手立てについて協議を行い、書く力を伸ばすための指導の充実を促進する。</p>
年度	小6	中3																																																				
H24	87.5	82.9																																																				
H25	89.0	88.4																																																				
H26	91.3	83.2																																																				
H27	96.0	82.7																																																				
H28	92.0	92.7																																																				
H29	96.5	87.5																																																				
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																														
87.5	89.0	91.3	96.0	92.0	96.5	95.3%	96.5	97.0																																														
82.9	88.4	83.2	82.7	92.7	87.5	105.9%	87.5	88.5																																														
23	確かな学力の育成	<p>担当課 学校教育課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>幼稚園・小学校・中学校の連携 幼稚園・小学校・中学校における合同研修会等の連携のための取組の推進</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>幼稚園・小学校間で、相互の連携を一層促進し、園児・児童・生徒に対する継続的な指導や教師間の情報交換により、園児・児童・生徒への理解を深めるとともに、学習指導、生徒指導等の充実についての研究を推進する。</p> <p>幼小中連携推進事業「学びのかけ橋」プロジェクトを、平成28年度から2年間の研究指定地域として阿南市・東みよし町を指定し、実施した。</p>	<p>取組状況(H28年度分)</p>	<p>評価</p> <p>(成果) 教職員間の相互交流や合同研修、児童生徒による合同活動等による合同活動等が実施され、連携・接続の推進が図られた。本事業の成果を「あわ(OUR)教育発表会」や実践報告書を通して、広く県内に普及した。</p> <p>(課題) 成果の更なる普及を図る必要がある。</p>	<p>今後の取組方針</p> <p>幼小中連携推進事業「学びのかけ橋」プロジェクトを、平成28年度から2年間の研究指定地域として阿南市・東みよし町を指定し、実施した。</p>																																																

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																										
24	確かな学力の育成	コミュニケーション能力の育成 授業や行事等において、児童生徒が様々な人とコミュニケーションを図るための取組の推進	<p>授業や行事等において外部人材や地域のボランティアの人たち等と共に学習することにより様々な立場の人々と交流し、コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>地域ぐるみで児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図るため、学校地域支援本部や地域コーディネーターの育成等の普及を図ることにより、外部人材や地域ボランティアの積極的な活用を推進した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：ー)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ー</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H28)</td> <td>目標値(H28)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 外部人材や地域のボランティアの人々等と交流することによりコミュニケーション能力の育成が図られるとともに、様々な立場の人の思いや考えを知ることができた。</p> <p>(課題) 外部人材や地域の人々との交流のための打合せ時間の確保が課題である。</p> <p>児童生徒が、外部人材や地域のボランティアの人たち等とのさらなる交流を深めることができようにするために、「総合的な学習の時間」や行事等において積極的に地域の人材を活用するよう、各学校の担当者に対して効果的な取組について情報提供するとともに「総合的な学習の時間」等の年間指導計画や全体計画の工夫改善に努めるよう指導している。</p>	(単位：ー)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	ー	推進	推進	推進	推進	推進					達成率(H28)	目標値(H28)						推進						目標値(H29)						推進
(単位：ー)																																													
基準値	H25	H26	H27	H28	H29																																								
ー	推進	推進	推進	推進	推進																																								
				達成率(H28)	目標値(H28)																																								
					推進																																								
					目標値(H29)																																								
					推進																																								
25	豊かな心の育成	道徳教育の充実 県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会等との緊密な連携	<p>事業目的、数値目標実績</p> <p>担当課 学校教育課</p> <p>事業目的 徳島県道徳教育推進協議会を核とした道徳教育実践研究(指定校)事業による研究成果の普及、県小中学校教育研究会道徳部会と連携した道徳教育の指導方法の改善等を通して、道徳教育を推進する。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：ー)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ー</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H28)</td> <td>目標値(H28)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表校等への指導助言を行った。 2 徳島県道徳教育推進協議会との連携を通して研究の推進に努め、研究成果についての普及を図った。</p> <p>(成果) 県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表校等への指導助言(研究発表校4校、市道徳部会3回、県道徳部会2回)や道徳教育実践研究(指定校)事業(6校)の研究成果の普及を通して、指導の改善に資することができた。</p> <p>(課題) 県内各校において学校の教育活動全体を通して取組が一層推進されるよう、県小中学校教育研究会道徳部会等との連携を深めることが重要である。</p> <p>県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会との連携を一層深め、学校の教育目標、学校の教育目標、学校や地域の実情、児童生徒の実態等を踏まえ、「特別の教科 道徳」の充実に向けた取組の推進を図る。</p>	(単位：ー)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	ー	推進	推進	推進	推進	推進					達成率(H28)	目標値(H28)						推進						目標値(H29)						推進
(単位：ー)																																													
基準値	H25	H26	H27	H28	H29																																								
ー	推進	推進	推進	推進	推進																																								
				達成率(H28)	目標値(H28)																																								
					推進																																								
					目標値(H29)																																								
					推進																																								

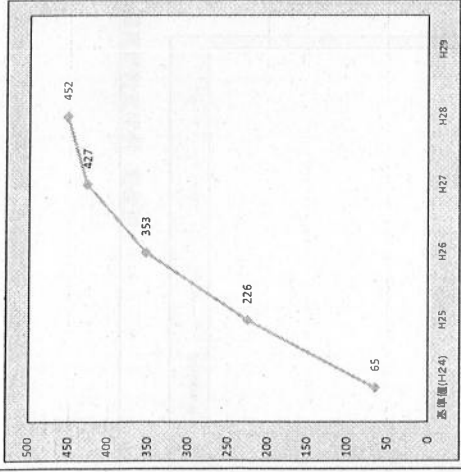
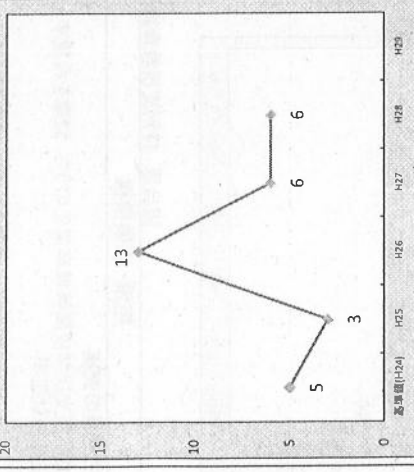
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
26	豊かな心の育成	豊かな心をはぐくむボランティア活動の推進 各学校における、児童生徒のボランティア活動への参加 機会の設定	取組状況 (H28年度 分)	<p>学校におけるボランティア教育の充実や家庭・地域・ボランティア団体等との連携を緊密に図り、継続的に学校や地域でのボランティア活動を推進し、その意欲を醸成する。</p> <p>東日本大震災における被災地支援の重要性を実感させる教材を提供し、ボランティア活動による社会貢献への意識の高揚を図るとともに、各学校において、福祉施設を訪問、地域の清掃活動やリサイクル品回収活動を行うなど、様々な活動が進められた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 各学校において、東日本大震災における被災地支援の重要性を実感させる教材の活用を通して、児童生徒のボランティア活動への参加意欲の高揚が図られた。</p> <p>(課題) 外部人材や地域の人々と連携したボランティア活動を計画する機会の確保、及び活動を推進するための指導力を備えた教員の育成が課題である。</p> <p>効果的な取組についての情報提供を行い、学校と家庭、地域がともに取り組む体制やボランティア活動を行う団体との協力体制を確立し、学校外部の人材を活用するなど、地域に根ざした活動の充実を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
—	推進	推進	推進	推進	推進		推進	推進														
27	豊かな心の育成	環境教育の推進 「新 学校版環境ISO」認証を取得した学校の割合	取組状況 (H28年度 分)	<p>従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動等に継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域にむかひ、環境美化活動や自然観察等の体験活動を積極的にを行い、学校における環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的とする。</p> <p>さらに、この取組の成果を生かし、「新 学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図るとともに、エネルギーに関する教育を充実させ、生命や自然を大切にし、地域の環境を守るために行動できる、郷土を愛するモラルの高い児童・生徒を育成する。</p> <p>「新 学校版環境ISO」に平成24年度から移行しており、平成28年度は7校が新規に認証取得を行った。平成27年度までの認定校と合わせて82.7%が認証取得している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75</td> <td>75</td> <td>78</td> <td>80.3</td> <td>82.7</td> <td>100.9%</td> <td>82</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：%)</p> <p>(成果) 本年度の新規の認定校(7校)を合わせると、目標としていた82%を達成している。「新 学校版環境ISO」の認証取得を通して、環境保全活動や環境学習が全県的に浸透しつつある。また、児童・生徒、教職員が一体となった取組が家庭や地域にも広がっている。</p> <p>(課題) 「新 学校版環境ISO」新規申請校の一層の増加が課題である。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	75	75	78	80.3	82.7	100.9%	82	84	
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
75	75	78	80.3	82.7	100.9%	82	84															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針
28	健やかに生きる力の育成	<p>学校体育の充実と運動習慣の確立 「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」結果において 全国平均以上の種目数</p> <p>基準値(H25) H25 H27 H29 9 14 12</p> <p>達成率(H28) 92.3% 目標値(H28) 13以上 目標値(H29) 15以上</p> <p>(単位：種目数)</p>	<p>改善傾向にあるものの、まだ全国平均以下の種目が多く、運動をする子としない子の二極化現象、肥満傾向児の出現率が高い本県の子どもの身体の状況とあわせて、体力・運動能力の向上は喫緊の課題であり、学校・家庭・地域が連携した取組を推進し、その実現を図る。</p> <p>1 小学3・4年生を中心に新体力テストの実施及び県内プロスポーツ団体による運動指導を実施した。 2 小学校の体育授業への大学教員等による指導者派遣、運動・生活習慣確立のための指導者派遣を行った。 3 自ら生活や運動習慣の目標を決め100日達成を目指す取組や年度初めの歩数よりプラス1000歩を目指す取組を実施した。 4 ICTを活用し、運動の苦手な子どもでも友だちや家族と繰り返し記録に挑戦できるランギングシステムの利用を促進した。</p> <p>(成果) 平成28年度の全国体力・運動能力調査の結果(小学校5年生、中学校2年生)、全国平均を上回る種目数が34種目中12種目になり、12種目で前年度より記録が向上した。</p> <p>(課題) 全国と比較して、「20mシャトルラン」「持久走」「全身持久力」等の「全身持久力」の「筋持久力」が低位の状況で課題が見られる。</p> <p>小学校体育授業への指導者派遣による実施対象学年に低学年を含める。また、学校の課題に応じた運動内容の提供や、より苦手な児童に目を向けた授業を実施していく。</p>
29	健やかに生きる力の育成	<p>担当課 体育学校安全課 施策・成果指標</p> <p>学校における食育の推進 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を実施する学年の割合</p> <p>基準値(H25) H25 H27 H29 11.1 33.3 44.4</p> <p>達成率(H28) 100.0% 目標値(H28) 44.4 目標値(H29) 55.5</p> <p>(単位：%)</p>	<p>「徳島県学校食育指導プランII」に基づき、栄養教諭・学校栄養職員がコーディネーターとなり、その専門性を生かして食に関する指導の充実を図る。</p> <p>1 全公立小中学校の特定学年全学年級で、担任と栄養教諭・学校栄養職員のPTTによる「食に関する指導」の授業実施 2 公立小中特別支援学校で、担任や栄養教諭・学校栄養職員が学校給食の時間等を活用した「食に関する指導」実施 3 偏食傾向、肥満傾向のある児童生徒、また食物アレルギーのある児童生徒に対して、栄養教諭等と連携して個別指導を実施</p> <p>(成果) 全公立小中学校で授業を行うことにより、児童生徒に望ましい食習慣について考えさせ、保護者や地域にも啓発することができた。</p> <p>(課題) 栄養教諭・学校栄養職員が、置籍校や置籍調理場から未配置校に赴いて授業をすることが、時間等の制約で困難な場合があった。</p> <p>栄養教諭・学校栄養職員の配置拡大を図るとともに、栄養教諭が未配置校に赴いて指導しやすい学校食育推進体制を整備するよう、市町村に働きかける。また、各学校の取組状況を市町村教育委員会を通して定期的に調査し、食育に対する意識向上を図る。</p>

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
30	健やかに生きる力の育成	学校における食育の推進 学校給食における地場産物の活用率 	<p>地域の産業や文化等について学んだりと生産者等に対する感謝の気持ちを育てたりするために、食育の教材である学校給食に安全安心な地場産物の活用を推進する。</p> <p>1 栄養教諭・学校栄養職員研修会で地場産物活用の呼びかけを行った。          2 年3回の地場産物活用率調査を実施した。(6月・11月)          3 「食育の日」で地場産物活用の依頼を行った。          4 生産者団体等と地場産物活用推進のための会議を開催した。          5 学校給食で地場産物を活用するためのレシピ・調理技術マニュアルを作成し、全校給食調理場に配布した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国の基準(目標値)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>41.9</td> <td>46.8</td> <td>36.5</td> <td>43.2</td> <td></td> <td>123.4%</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 地場産物活用の呼びかけにより、学校給食における地場産物の活用が進んでいる。</p> <p>評価 (課題) 県産の肉や魚は、価格等の問題で活用が難しかった。また、県産根菜類が入り困難な11月は、活用率が上がりにくかった。</p> <p>今後の取組方針 関係部局や生産者団体と連携をとりながら、地域の実態や各調理場の食数に応じた安定的な地場産物供給体制の整備を進める。</p>	国の基準(目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	30	41.9	46.8	36.5	43.2		123.4%	35	35
国の基準(目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
30	41.9	46.8	36.5	43.2		123.4%	35	35													
31	健やかに生きる力の育成	担当課 体育学校安全課 施策・成果指標 学校保健の充実 健康課題に対する地域検診会、研修会、講演会等の開催回数(累計) 	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校保健の充実を図るとともに、学校・家庭・地域・専門機関と連携し、子どもたちの現代的な健康課題の解決に取り組む。特に、望ましい生活習慣の定着を図り、児童生徒の肥満予防、肥満対策、生活習慣病予防対策を推進する。</p> <p>学校や地域に専門家を派遣し、学校や地域の実情に応じた取組を支援した。また、協議会を開催し、専門家と連携した取組を推進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>17</td> <td></td> <td>113.3%</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 協議会・対策会議を7回実施し、アレルギ一疾患(1件)、生活習慣改善(3件)、食生活(1件)、健康管理(3件)、生活習慣病予防(1件)、性に関する指導(1件)について、地域等での研修会、講演会を実施した。</p> <p>(課題) 肥満・生活習慣病予防に関しては、保護者の理解や協力が不可欠であり、効果的な連携が課題である。</p> <p>今後の取組方針 食育や体力向上との関連を図り、総合的に取り組む。また、肥満予防・生活習慣改善に向けて、元気なあわっ子憲章の啓発普及を図り、家庭との連携を深める取組を推進する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	20	20	16	18	17		113.3%	15	15
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
20	20	16	18	17		113.3%	15	15													

32	推進項目 <b>健康やかに生きる力の育成</b>	<b>施策・成果指標</b> 学校保健の充実 肥満傾向の児童生徒数(小中)	<b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> 本県の子どもの肥満予防・肥満対策を図るため、学校・家庭・地域・専門機関等が連携して、子どもたちの生活習慣の改善・肥満予防の取組を行う。 すべての小中高校で「生活習慣改善計画」を作成し、年間を通じてその実践に取り組んでいる。また、中高では「健康力アップ30日作戦」、小学校では「体力アップ100日作戦」として、児童生徒が自ら目標を立て、生活習慣改善の取組を推進する。PTAを対象として運動習慣や生活習慣に関する講習会等に指導者を派遣したり、県医師会との連携により「肥満傾向児に対する2次検診」を実施している。	事業目的 取組状況(H28年度分)
基準値(H25) 5,437人 H25 - H26 - H27 H25の4.7%減 H28 H25の5.3%減 H29 達成率(H28) H25の4%減 目標値(H28) H25の4%減 目標値(H29) H25の6%減 (単位：%)	(成果) すべての学校において、児童生徒の生活習慣改善のための計画を作成し、その実践に取り組むなど、子どもたちの生活習慣改善の取組が徐々に浸透しつつある。 (課題) 全国的にみて、本県の子どもの肥満傾向児の出現率が依然として高い状況にあり、学校だけでなく、保護者や家庭の果たす役割が重要である。	今後の取組方針 徳島の未来を担うすべての子どもたちの健康づくりを目指して「元氣あわわ子憲章」について広く県民に周知を図るとともに、子どもたちの肥満予防・肥満対策を図るため、学校・家庭・地域等が連携して、「運動」「食」「睡眠」などの基本的な生活習慣の改善の取組を行う。	<b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> 障がいのある幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を充実させるため、関係機関が連携し障がいの状態等に配慮した支援を乳幼児期から学校卒業後までの長期的視点で行うための計画を明記した「個別の教育支援計画」の作成を推進する。	事業目的 取組状況(H28年度分)
33	推進項目 <b>個性がひらく特別支援教育の推進</b>	<b>施策・成果指標</b> 相談支援体制の充実 ニーズに応じた「個別の教育支援計画」の作成率	<b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> 障がいのある幼児児童生徒の将来を見据え、作成の必要性が保護者や学校等に徐々に浸透しつつある。 (成果) 障がいのある幼児児童生徒の将来を見据え、作成の必要性が保護者や学校等に徐々に浸透しつつある。 (課題) 作成にあたって、保護者の同意を必要としているので、作成の必要がある幼児児童生徒がいても、保護者の同意が得られない等作成が困難な場合がある。	事業目的 今後の取組方針
73.7 80.0 87.4 90.3 97.8 達成率(H28) 115.1% 目標値(H28) 85.0 目標値(H29) 95.0 (単位：%)	特別支援教育コーディネーター研修や特別支援学級担任者研修等を通じて、障がいのある幼児児童生徒の早期支援のため「個別の教育支援計画」が重要であることを学校リーダー研修等を通じて各園・学校・学校に周知するとともに、幼稚園から小学校、中学校の進学時に引き継ぎのためにも作成の必要があることを保護者へ改めて周知する。加えて作成が進んでいない学校等に対しては、巡回相談員が相談や研修の際に作成・活用の方策について指導等を行ったり、指導主事が直接各学校からの相談に応じたりする。	1 県教育委員会において特別支援教育コーディネーター研修、特別支援学級担任者研修、地域特別支援連携協議会等において、作成のメリットについて説明し、具体的な作成手順や活用方法等について周知を図った。 2 県立総合教育センターが作成している「個別の教育支援計画を作成するための」の手引き等も活用し、特別支援教育育巡回相談員が相談や校内研修の場などを通じて、作成についての助言を行った。	<b>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</b> 障がいのある幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を充実させるため、関係機関が連携し障がいの状態等に配慮した支援を乳幼児期から学校卒業後までの長期的視点で行うための計画を明記した「個別の教育支援計画」の作成を推進する。	事業目的 今後の取組方針

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
34	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>就労支援の充実 特別支援学校の就業体験協力事業所数(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300</td> <td>352</td> <td>453</td> <td>550</td> <td>644</td> <td>644</td> <td>143.1%</td> <td>450</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	300	352	453	550	644	644	143.1%	450	550	<p><b>事業目的</b> 特別支援学校では、事業所等で適性に定めた就業体験を積極的にを行うため、進路指導主事等が中心となり、就業体験に協力いただける事業所を開拓していく。</p> <p><b>取組状況(H28年度分)</b> 就業体験の場や機会の拡充を図るため、新たな事業所、以前からつながりのある事業所や福祉事業所に対し、特別支援学校進路指導主事等12名が年間2,118回の訪問を行った。</p> <p><b>評価</b> (成果)新たに118事業所に対し、特別支援学校や就業体験についての説明を行い、94事業所から就業体験受入協力の意向が示された。</p> <p>(課題)特別支援学校の生徒は、事業所での就業体験を繰り返すことにより職業の適性や職場環境への適応を見極め、卒業後の就労に結びついている。そのため、進路指導主事を中心とした、生徒一人ひとりの実態や障がい特性に応じた就業体験先の確保と事業所とのマッチングが課題となっている。</p> <p><b>今後の取組方針</b> 徳島労働局・ハローワークや商工労働観光部労働雇用戦略課、障がい者雇用を支える徳島企業ネットワークなど関係機関と連携し、特別支援学校ゆめチャレンジプロジェクトや発達障害が得意な職種を開発し、事業所に対する障がい理解の推進を図り、就業体験協力を積極的に開拓する。また、就労支援に関する協力協定を生かし、生徒の障がい特性や持っている力を生かせる就業体験の機会拡充を図る。</p>
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
300	352	453	550	644	644	143.1%	450	550													
35	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>担当課 特別支援教育課</p> <p><b>施策・成果指標</b></p> <p>就労支援の充実 県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97</td> <td>96.6</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100.0%</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H25)	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	97	96.6	100	100	100	100.0%	100	100	<p><b>事業目的</b> 企業の障がい者雇用への理解を推進するとともに、生徒の就業意欲や技能向上を図るなど、特別支援学校生徒の自立のための取組を強化する。</p> <p><b>取組状況(H28年度分)</b> 県内2か所における特別支援学校ゆめチャレンジプロジェクトの開催 東部開催 参加企業23社 参加生徒109名、西部開催 参加企業21社 参加生徒98名 ゆめチャレンジプロジェクトへの参加や技能検定の受験により、生徒の働く動機付けが高まってきた。 特別支援学校の生徒等の就労支援に関する協定締結 (徳島ビルメンテナンス協会・徳島ビルメンテナンス協同組合、(株)キョーエイ、徳島老人福祉施設協議会) ※平成28年度全体就職率：37.1%</p> <p><b>評価</b> (成果)特別支援学校ゆめチャレンジプロジェクトやとくしま特別支援学校技能検定を実施し、生徒の働くための意欲や技能の向上を図ることができた。その結果、全体就職率も高い水準を保っている。</p> <p>(課題)事業所に対する障がい特性や障がい者雇用の理解を深められる取組の推進及び事業所と生徒とのマッチングの機会拡充を図るなど、関係機関との「連携」による効果的かつ継続的な就労支援体制の構築が求められる。</p> <p><b>今後の取組方針</b> 生徒一人ひとりの実態や障がい特性に応じた就労を実現するため、生徒の働きたい思いや身に付けてきた態度や技能を事業所に知ってもらえる機会を設け、事業所に対する障がい理解や障がい者雇用の推進を図る。また、就労支援に関する協力協定を生かし、生徒の障がい特性や持っている力を生かせる就業体験の機会拡充を図る。</p>		
基準値(H25)	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
97	96.6	100	100	100	100.0%	100	100														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
36	個性がひろく特別支援教育の推進	<b>就労支援の充実</b> とくしま特別支援学校技能検定受検者数 	<b>事業目的</b> 特別支援学校版の技能検定を実施することにより、特別支援学校生徒が学習の成果について認定を受け、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。 <b>取組状況(H28年度分)</b> 「とくしま特別支援学校技能検定」として、ビルメンテナンクス(自在ぼうき、テーパー拭き、ダスタークロス、モップ)の4分野8種目を実施し、延べ452名の生徒が受検して級認定を受けた。また、各分野部会において、各校の取組についての情報交換や、今後の技能検定の実施の方向性について検討を行った。検定の周知については、介護分野でマスコミへの資料提供を行うとともに、ゆめチャレンジフェアにおいて、参加企業の方々に検定の実演を披露した。 <table border="1" data-bbox="343 302 422 1254"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65</td> <td>226</td> <td>353</td> <td>427</td> <td>452</td> <td></td> <td>118.9%</td> <td>380</td> <td>390</td> </tr> </tbody> </table> <b>評価</b> (成果) 受検した生徒には技能の習得とともに自信や意欲の向上が見られた。西部開催の定着により西部の受検者が増加し、ICT分野においては、肢体不自由のある生徒等の受検者数が増加した。また、流通分野については、平成29年3月にプレ検定を実施した。部会での情報交換により、部会主体の検定運営に向け、教員の意識が高まった。 (課題) より多くの生徒が技能検定を受検できるよう、各校開催に向けて教員審査への移行を図る必要がある。また、上位級取得者のさらなる意欲向上のため、身に付けた技能の披露や評価の場を増やす必要がある。 <b>今後の取組方針</b> ビルメンテナンクス、接客、介護、介護、ICTに新たに流通分野を加えた5分野について技能検定を実施し、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。また、審査員認定教員研修会を実施し、教員による審査を開始する。上位級取得者に対するビルメンテナンクス分野での競技会実施、接客分野での応用編の実施とともに、検定未受検者への興味関心の喚起のため、ICT分野の新種目の開発も行う。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	65	226	353	427	452		118.9%	380	390
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
65	226	353	427	452		118.9%	380	390													
37	個性がひろく特別支援教育の推進	<b>担当課 特別支援教育課</b> <b>施策・成果指標</b> <b>発達障がい教育の充実</b> 関係機関のネットワークを利用した高等学校相談校数 	<b>事業目的</b> 発達障がい教育の充実を図る。発達障がい者総合支援センター、地域若者サポートステーション、就業・生活支援センターとICTネットワークを活用したテレレベシ会議システムを利用し、即時相談支援体制の構築を図ることにより、喫緊の課題である発達障がいのある高等学校段階の生徒の就労支援を実施する。 <b>取組状況(H28年度分)</b> テレレベシ会議システムを活用し、個別のケース相談に加えて、関係機関同士で互いの情報交換を行う運営委員会を1回、各関係機関が高等学校に提供できるサービス等について紹介する情報交換会を5回実施した。 <table border="1" data-bbox="901 302 981 1254"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> <td>40.0%</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <b>評価</b> (成果) 発達障がいのある生徒の就労支援について、関係機関と連携し、3件(2校)のケース相談に応じるとともに、5回の情報交換会において発達障がい者支援センター(2か所)や地域若者サポートステーション(2か所)、障がい者就労・生活支援センター(1か所)が提供されるサービスについて6校の高等学校に情報提供することができた。 (課題) Web相談は、就労支援の関係団体と連携し、高校生の卒業後の就労支援を目的としている。一度関係機関と連携した相談を行った学校は、独自で各機関に相談・連携することがみられるため、従来行っている学校への周知に加え、相談のメリットを各担任にまで広く伝えられるように工夫する必要がある。 <b>今後の取組方針</b> 担当を含め全ての教員に対して本事業の周知を図るとともに、広報リーフレットに「障がいのある事例でも活用可能であること」を明記する。また、遠隔地からの利用や時間の自由度が高いというメリットがあり、教員の負担軽減効果も高いため、平成29年度から高校等に導入されたタブレットPCからの活用マニュアルの整備といった工夫を行い、必要のある生徒に対するWeb相談の活用をさらに促進する。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	5	3	13	6	6		40.0%	15	15
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
5	3	13	6	6		40.0%	15	15													



番号	38	推進項目	個性がひろく特別支援教育の推進	施策・成果指標	発達障がい教育の充実 「徳島県発達障がい教育研究会」における参加校数	事業目的	徳島県内の各園・学校において、発達障がいの特性を理解した教員等による教育活動の展開と有効な指導方法についての成果を、県内外へ情報発信を行う。	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針	徳島県内の各園・学校において、発達障がいの特性を理解した教員等による教育活動の展開と有効な指導方法について						
取組状況(H28年度分)							第1回研究会参加校数(8月25・26日実施)：県外82校、県内278校 計360校 ※第49回(全国情緒障害教育研究会と同時開催) 第2回研究会参加校数(12月15日実施)：県外10校、県内19校 計29校 合計389校								
評価							(単位：校)								
							基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
							30	89	99	120	389		389.0%	100	100
今後の取組方針															

番号	39	推進項目	個性がひろく特別支援教育の推進	担当課 特別支援教育課	施策・成果指標	発達障がい教育の充実 「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携した実践教育の事例数(累計)	事業目的	徳島県において、発達障がい教育・自立促進アドバイザーチームを核とし、共生社会の実現に向けた「とくしま支援モデル」の開発など徳島ならではの特別支援教育の充実を図る。	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針	徳島県において、発達障がい教育・自立促進アドバイザーチームを核とし、共生社会の実現に向けた「とくしま支援モデル」の開発など徳島ならではの特別支援教育の充実を図る。
取組状況(H28年度分)										
評価										
今後の取組方針										

推進項目	実施・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針
40	<p>発達障がい教育の充実 特別支援教育に関するe-ラーニング研修システムへの年間延べアクセス数</p> <p>2800 2300 1800 1300 800 300</p> <p>H25 H26 H27 H28 H29</p> <p>2103</p>	<p>事業目的 教員が幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な始動や必要な支援ができるように、e-ラーニング研修システムを開発し、教員の専門性向上を図る。</p> <p>取組状況(H28年度分) 特別支援学校の教員を中心とした作問委員会を編制し、「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携し、e-ラーニング研修システムの学習教材の開発を進めた。</p> <p>評価 (成果) 作問委員会が55領域646問の問題を作成し、逐次公開した。また、教員研修の事前課題とするなど、e-ラーニング教材へのアクセスを拡大する試行的な取組を行った。平成28年7月から平成29年3月末までに2,013件のアクセスがあった。 (課題) 教員研修の事前課題等において教材を本格的に活用すること、学校等において教材が幅広く活用される方策を検討すること、質の高い教材を効率的に作成することが課題である。</p> <p>今後の取組方針 ・今後は、e-ラーニング教材を総合教育センターで実施する教員研修の事前課題として本格的に導入するとともに、各学校等で行う研修や巡回相談員、コーディネーター等の理解啓発活動への活用を図る。 ・専門性の高い教員による作問委員会に加え、外部講師を招聘した研修等について研修内容に関する問題の作成を講師に依頼するなどの方法についても検討を行い、より質の高い教材を効率的に作成できる方策を探る。</p>
41	<p>担当課 特別支援教育課</p> <p>実施・成果指標 教育活動全体を通じた人権教育の充実 「徳島県人権教育推進方針」の改定・推進</p>	<p>事業目的 人権に関する国の動向や社会的な状況を踏まえ、現行の「徳島県人権教育推進方針」に新たな人権教育の視点や人権課題の内容を追記するとともに、学校教育において、学習者の発達段階に応じ、あらゆる機会や場を捉えて人権教育を更に推進し、充実を図っていく。</p> <p>取組状況(H28年度分) 平成25年度に作成したリーフレット「『徳島県人権教育推進方針』に基づく人権教育の充実」を基に、各種研修会や学校訪問等を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に追記した内容の周知に努めた。また、具体的実践につながる指導者用資料の周知・活用を推進に努めた。</p> <p>評価 (成果) 各種研修会や学校訪問を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に追記した内容を周知するとともに、具体的実践につながる指導者用資料の活用促進を図ることができた。 (課題) 追記した内容や指導者用資料を周知するとともに、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育を更に推進する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 各種研修会や学校訪問、要請訪問など様々な機会を通じて、リーフレットや指導者用資料を活用した人権教育の具体実践を進めることができるよう指導し、人権教育の充実を図っていく。</p>

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
42	行動につながる人権教育の推進	教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育研究校の指定校数 	<p>事業目的 人権意識を培うための学校教育の在り方等について、幅広い観点から実践的な研究を行い、その成果の普及に努め、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する。</p> <p>1 研究指定校の指定 ○県指定(辻幼稚園、大松幼稚園、鴨島支援学校、城北高等学校、池田中学校) ○文部科学省指定(芝生小学校、渋野小学校、松茂中学校、池田中学校) 2 研究発表会の開催 11月9日(辻幼稚園、芝生小学校) 10月26日(鴨島支援学校) 3 ホームページ等での情報発信 11月10日(松茂中学校)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>100.0%</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:校)</p> <p>評価 (成果) 研究指定校においては、実践研究を深め、指導内容や指導方法の改善・充実に努め、教職員の人権意識の高揚やP T A研修の充実にもつながった。研究発表会の開催、人権教育課のホームページ上での情報発信等により、研究の成果を広く県内各園・校に普及し、人権教育の充実を図ることができた。 (課題) 研究指定校への支援、研究成果等の普及については、更に工夫改善を行っていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 研究指定校において、地域の実情や新たな人権課題に忠じた研究を進めていくために授業研究や研修の支援に努める。幅広い年代の教員が研究発表会に参加できるように工夫したり、研修会や要請訪問等様々な機会を捉えてその研究成果を広めたりし、人権教育の充実を図っていく。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	8	8	8	8	8	8	100.0%	8	8
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
8	8	8	8	8	8	100.0%	8	8													
43	行動につながる人権教育の推進	教育活動全体を通じた人権教育の充実 ライフステージに応じた人権研修回数 	<p>事業目的 「徳島県人権教育推進方針」に基づき、各学校における人権教育を充実・推進するため、教職員の人権意識の高揚を図り、人権及び人権問題に関する理解・認識を深め、人権教育の指導力を高める。</p> <p>1 初任者研修(人権教育) (7月28日) 2 学校リーダー研修(人権教育) 小・中学校(5月25日)、高等学校・特別支援学校(5月27日) 3 “あわ”じんけん講座 ①実践力向上講座(8年目の教員) 幼(7月22日)、小(7月25日)、中(7月27日)、高・特(7月26日) ②指導力充実講座(10年経験者) 幼、小、中、高・特(8月16日) 4 人権教育主事研修会 年間3回 5 教職5年次研修(人権教育) 小(8月24日)、中・特(8月23日)、高・養(8月23日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>125.0%</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:回)</p> <p>評価 (成果) 従来の基本研修や職務研修と“あわ”じんけん講座を関連させることにより、教職員のライフステージに応じた人権教育の研修を実施することにより、人権問題の理解と人権意識の高揚につながっている。 (課題) 人権教育のほかにも様々な内容の研修が求められており、基本研修や職務研修で、人権教育に関する研修の機会を確保することが困難になってきている。研修内容の充実を図るとともに、総合教育センター等との連携を密にし、研修機会を更に確保していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 全国的に教員の世代交代が進みつつある中、ライフステージごとの研修において繰り返し人権教育を扱い、教員の人権意識と指導力の向上に努めていくことが求められている。研修において身に付けた知識や技能を、組織的な取組や幼児児童生徒の成長につながっていくように、研修内容・指導方法の改善・充実に努める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	4	5	5	5	5	4	125.0%	4	4
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
4	5	5	5	5	4	125.0%	4	4													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																														
44	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育指導員による研修等の満足度</p> <table border="1"> <caption>満足度(H27) (単位:回)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H27)</td> <td>90</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>98</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率(H28)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>103.2%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値(H28)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>95</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H27)	90	-	-	98	-	達成率(H28)	-	-	-	103.2%	-	目標値(H28)	-	-	-	95	-	目標値(H29)	-	-	-	-	95	<p><b>事業目的</b> 人権教育指導員を選任し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において指導助言することにより、国民の人権意識の高揚を図り、もって「徳島県人権教育推進方針」に基づき人権教育を推進し、人権尊重社会の実現に資することを目的とする。</p> <p><b>取組状況(H28年度分)</b> 41名の徳島県人権教育指導員を委嘱し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において、個人人権課題や普遍的な視点についての指導助言を行った。様々な人権課題や今日的な課題に対応できるようにするために、指導員の選考を行い、推進方針に掲げる全ての個人人権課題に加えて普遍的な観点からも指導できる体制を整えた。</p> <p><b>評価</b> (成果) 豊かな知識や実践力の向上を図ることができた。 (課題) 各学校等から依頼のある個人人権課題に偏りがある。各学校や市町村教育委員会等に、可能な限り幅広く個人人権課題を取り上げた研修が行われるように働きかけていく必要がある。</p> <p><b>今後の取組方針</b> 今後とも、幅広い研修の要望に応えられる体制を整えていく。また、人権教育指導員の連絡会において今日的な課題、特に昨年施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」等についての研修会や情報交換を行い、指導員の指導力の向上を図っていく。</p>
年度	H25	H26	H27	H28	H29																												
基準値(H27)	90	-	-	98	-																												
達成率(H28)	-	-	-	103.2%	-																												
目標値(H28)	-	-	-	95	-																												
目標値(H29)	-	-	-	-	95																												
45	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権尊重の思いを伝える作品募集の応募作品数</p> <table border="1"> <caption>応募作品数 (単位:作品)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H21~24平均)</td> <td>3,000</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率(H28)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>134.8%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値(H28)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3,300</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3,500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H21~24平均)	3,000	-	-	-	-	達成率(H28)	-	-	-	134.8%	-	目標値(H28)	-	-	-	3,300	-	目標値(H29)	-	-	-	-	3,500	<p><b>事業目的</b> 「いのち」の大切さや生きることのすばらしさをメッセージに託し、「いのち」の輝きを表現した作品の募集を通じて、「いのち」や人と人とのつながりの大切さ、人権尊重の重要性について考える機会を県民に持つていただき、人権尊重の精神の涵養を図る。また、その作品を人権教育・啓発資料として活用することにより、県民一人ひとりに自他の「いのち」や人権を尊重するとはどのようなことなのかを感じ取っていただき、人権が尊重される社会づくりに向けた態度や行動につなげていくことを目的とする。</p> <p><b>取組状況(H28年度分)</b> 1 作品募集 県内の幼稚園児から大人の方まで4,450点の作品応募があった。 2 優秀作品の表彰式 平成28年度とくしま家庭教育フォーラム(2月26日)において、優秀作品(43作品)を表彰するとともに作品の展示を行った。 3 優秀作品の活用 優秀作品を啓発用パネルや作品集にし、人権教育啓発展示等で活用できるようにした。</p> <p><b>評価</b> (成果) 「いのち」の大切さを考える機会となった作品募集とともに表彰式や優秀作品のパネル展示、パネルの貸出しなどにより、多くの県民が人権について考える機会とすることができた。 (課題) 本事業は、毎年、児童生徒に広く普及しつづつある。今後は、一般の部の作品の充実に向けて、学校を通じて保護者への参加呼びかけや各市町村教育委員会、また県立施設等へリーフレットを配付し、広報に努めていく。また、「いのち」の大切さをテーマにした作品であるため、学校や地域社会において人権フェスティバルや文化祭等において人権意識の高揚を図るために、効果的な作品の活用が必要である。</p> <p><b>今後の取組方針</b> 作品募集について工夫し更に広報に努める。また、様々な機会を捉えて作品パネルの展示や貸出しを行うとともに、作品集を学校や社会教育施設へ配付し、効果的な作品の活用を図る。</p>
年度	H25	H26	H27	H28	H29																												
基準値(H21~24平均)	3,000	-	-	-	-																												
達成率(H28)	-	-	-	134.8%	-																												
目標値(H28)	-	-	-	3,300	-																												
目標値(H29)	-	-	-	-	3,500																												